

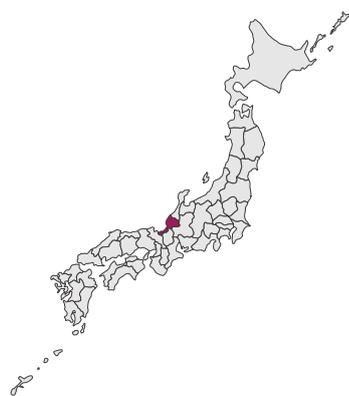
福井県農業信用基金協会

1 福井県の紹介

福井県は人口74万人、総面積4,188km²で中部地方の北西部に位置し、北は石川県、東は岐阜県、西は京都府、南は滋賀県と接しております。県内は大きく嶺北地区と嶺南地区に分けられます。嶺北東部は高い山々が連なり、その河川流域では盆地や平野が形成され、日本最大の恐竜化石発掘現場があり、世界三大恐竜博物館の一つである福井県恐竜博物館があります。



嶺北北部も高い山々が連なっていますが、北西に向かってなだらかに低くなり、海岸線沿いには砂丘地やサスペンスドラマでも有名な東尋坊が形成されています。



一方、嶺南地区はリアス式海岸線で、狭い平野が細長く続いています。その海岸沿いは、対馬海流の影響を受け、雪国で知られる本県にあって、冬でも比較的暖かく、積雪量も多くない地域です。令和6年3月には北陸新幹線が敦賀まで延伸開業し、特に福井駅では様々な恐竜達が皆様のご来県をお待ちしております。



2 福井県の農業

本県の耕地面積は39,600haで全国34位、うち田が35,900ha、畑が3,660ha（令和5年耕地面積7月15日現在、国交省国土地理院）。水稲では福井県発祥のコシヒカリはもちろん、その後継として「いちほまれ」を開発、ブランド米として順調に作付面積を拡げています。また、近年の猛暑、酷暑に

も耐えうる新品種の開発にも力を入れています。また、作付面積、収穫量ともに全国1位の六条大麦のほか、そばがおいしい都道府県で圧倒的1位となっているそばが生産されています。そのほかに、メロンやすいか、大豆、らっきょうも作付けられ、梅は日本海側で一番の産地です。

また、「吉川なす」、「山内かぶら」、「上庄さといも」といった県内伝統野菜や、「若狭小浜小鯛ささ漬」、冬の味覚の王者「越前が



六条大麦



福井梅



越前がに



いちほまれ

3 福井県農業信用基金協会の概要

当協会は、役員が理事8名（うち常勤1名）及び監事3名の11名、職員は9名（うち正職員8名、嘱託職員1名）により総務

部、業務部の2部体制で業務運営にあたっています。

4 福井県農業信用基金協会の活動

当協会は、審査制度の向上及び迅速・効率化を図るため平成19年度末に自動審査・リスク計量化システム、Web申込システムを共同開発しました。導入後、多少波があったものの、安定した引受額、保証残高の維持に寄与してきました。また、令和2年には県内に11あったJAのうち10JAが合併し、県域をエリアとする大きなJAが誕生しました。当初は、当協会の業況が1JAに左右されることに危機感がありましたが、融資担当研修会への参加や融資担当者の研修受け入れ、各種ローンキャンペーンに対する保証料率の軽減対応など融資担当部署との連携をこれまで以上に密接にした結果、減少傾向にあった保証残高は令和

3年度より毎年増加しています。こうした中、全国統一保証審査システムを令和6年2月に導入しました。当初は貸出システムの慣れない操作に戸惑うJA担当者から不満も聞こえてきましたが、当協会職員が懇切丁寧に指導したことで徐々に対応できるようになってきました。

農業を取り巻く環境は夏の猛暑や豪雨、大規模地震の発生など、年々厳しさを増すばかりですが、農業経営及びその他必要とする資金の融通を円滑にするため、その債務を保証することを目的とした公的保証機関として公正で迅速・的確に対応できるよう、今後も役職員全員が一丸となって取り組んでまいります。